

# 広報おんな

平成9年10月発行 (No.201) 恩納村役場 総務課 TEL(098)966-8006



## 安富祖中学全国制覇

### 第19回全国中学ソフトボール大会

- ◆恩納村サバイバルキャンプ
- ◆第1回各字対抗ゴルフ大会 恩納区優勝
- ◆むらの話題 ウミガメの卵ふ化 仲泊海岸  
子ども会県外研修 (日和佐町訪問)
- ◆日本赤十字社特別社員表彰



青と緑の豊かな活力ある村

## 琉歌の里おんな 第7回 琉歌大賞

二大女流歌人、「恩納ナビ」や「吉屋チルー」の生誕地である「琉歌の里」恩納村をアピールする第7回琉歌大賞(主催 同実行委員会)の一般公募が9月10日から始まりました。

募集する作品は未発表の八、八、六音からなる定型詩の作品で、官製はがき一枚に一首だけ記して下さい。一人三首まで受け付けます。



## 「琉歌大賞」作品募集



1. テーマ 「月」(moon)
2. 募集期間 平成9年9月10日～10月10日
3. 応募部門 一般の部 児童の部
4. 応募・問い合わせ先  
〒904-21 沖縄県恩納村字恩納419-3  
恩納村商工会内  
琉歌大賞実行委員会「琉歌大賞」係宛  
TEL 098-966-8258  
FAX 098-966-2435

## 恩納村文化祭「芸能部門」開催!

### 恩納村文化協会発足5周年記念事業

今年で5周年を迎えた恩納村文化協会が記念事業として恩納村文化祭「芸能部門」を開催いたします。

1. と き 平成9年10月18日(土)～19日(日)
2. ところ 恩納村コミュニティーセンター
3. 主 催 恩納村文化協会

#### オープニングセレモニー

- ◇場所: 恩納村コミュニティーセンター
- ◇日時: 平成9年10月18日(土)
- ◇内容: テープカット、オープニングアトラクション

#### ウステーク演舞

- ◇場所: コミュニティーセンター
- ◇日時: 平成9年10月18日(土)
- ◇内容: 村内に残るウステークの披露

#### 恩納村物産展

- ◇場所: コミュニティーセンターロビー他
- ◇日時: 平成9年10月18日(土)
- ◇内容: 地域の特産物を生かした特産物の展示紹介 ～19日(日)

#### 恩納村文化祭「芸能部門」

- ◇場所: コミュニティーセンター大ホール
- ◇日時: 平成9年10月19日(日)
- ◇内容: 文化協会(古典・民謡・舞踊・大正琴・合唱)の発表

#### 人口の動き

(8月末日現在)

人口	9,302人 (+14人)
男	4,764人
女	4,538人
世帯数	3,050世帯



# 安富祖 中学 日本一

(第19回全国中学校ソフトボール大会)

徳島県で開かれていた第十九回全国中学校ソフトボール大会(八月十九日、二十日の両日)で初優勝を飾った安富祖中学(新城和市長)の選手らが八月二十二日、村役場への報告と村内パレードを行いました。村役場前での報告会には大城助役をはじめ多くの職員が選手らを出迎えました。新城校長は「全国一になりました。大会出発前に、台風十三号のように大会の台風の目になれと激励しました。しかし、優勝が現実のものになり大変うれしく思います」とあいさつしました。

渡慶次監督は「関係者の皆様のご協力により優勝を勝ち取ることができました。例年にならぬ万全の調子で大会へ参加しました。準決勝など苦しい試合もありましたが選手全員が最後まであきらめずに頑張ってくれました」とお礼を述べました。また、職員を代表して大城英喜助役は「よくぞ全国優勝を成し遂げてくれました。村民の誇りです。小さな学校でもやればできるという事を実証してくれました」と選手の活躍をたたえました。

その後選手らは村内を凱旋パレード。沿道の住民から「日本一おめでとう」、「よくやってくれた」など祝福の声を受けていました。



▲笑顔で凱旋渡慶次監督



▲役場玄関前での選手のみなさん



▲監督を囲んでミーティング



▲念願の全国制覇を果たし喜ぶナイン



▲ガッツポーズでホームイン



▲晴れやかな表情でメダルを受けるキャプテンの東くん

## 1回戦 毎回安打で一方向的な勝利

安富祖中	0	3	2	4	5	2	0	16
三原第二中	0	2	0	3	0	0	0	5

## 2回戦 5回のチャンスを生かし逆転勝利

安富祖中	0	0	0	0	5	0	0	5
玉川中	0	1	0	0	1	0	0	2

## 準決勝 4番比嘉友之選手がサヨナラ安打

清風南海中	0	0	2	0	0	1	0	3
安富祖中	0	0	0	1	0	0	3	4

## 決勝 猛打爆発で全国制覇

佐那河内中	0	0	0	0	2	0	0	2
安富祖中	4	1	6	0	0	0	×	11

## 五団体が勇壮な演技 恩納村青年エイサーまつり

夏の風物詩である「恩納村青年エイサーまつり」(主催 村青年団協議会)が八月三十日、村コミュニティ広場で開かれました。会場には多数の村民、観光客が訪れ若者たちの勇壮な演舞を堪能しました。

あいさつで当山光村青年団協議会長は「エイサーまつりを開催できることは私たち青年にとって大きな喜びであります。このまつりをこれからの青年団活動の起爆剤にし、地域活性化に結びつけていきたい」と述べました。

今回は五青年会が出場(前兼久区青年会、恩納区青年会、瀬良垣区青年会、仲泊区青年会、塩屋区青年会)、次々と力強く息の合った演技を披露し会場から大きな拍手や声援を受けました。まつりのフィナーレは仲泊区青年会地謡でもあり、県内で活躍中のバンドティダカンパニー金城さんの三味線で出演者、観客が一体となったカチャーシーを踊り夏の夜のひとときを満喫しました。



▲瀬良垣区青年会



▲仲泊区青年会



▲塩屋区青年会



▲恩納区青年会



▲前兼久青年会



▲フィナーレを飾ったティダカンパニーのお二人

# 全国スポーツレクリエーション祭

恩納村実行委員会事務局広報 (第4号)

## みんなで楽しくスポレク体操 恩納小1、2年生ラジオ出演

11月に開催される全国スポレク祭広報活動を行っているラジオ沖縄「ポンテ元気隊が行く」の番組が恩納小中学校を訪れました。同校体育館で行われた録音には、小学1、2年生93人出演しました。緊張した表情でインタビューを受けていた子どもたちも「スポレクたいそうPonteげんき」の曲が始まるとスポレク体操のお姉さんやマスコットであるシーサー君と一緒に元気よく踊っていました。



緊張した表情でインタビューを受けていた子どもたちも「スポレクたいそうPonteげんき」の曲が始まるとスポレク体操のお姉さんやマスコットであるシーサー君と一緒に元気よく踊っていました。

## 全国スポレク大会へステップアップ 恩納村長カップビーチバレー大会 サマーイリュージョン97

サマーイリュージョン97恩納村長カップビーチバレー大会(主催 サンマリーナホテル)が8月3日、全国スポレク会場であるサンマリーナホテルで開催されました。大会は県内から51チーム(408人)が参加、競技のほかにもパフォーマンス賞やコーディネイト賞などがあり、会場は熱い戦いの中にも和やかな雰囲気がありました。結果は次のとおりです。



優勝 我謝ブラザーズとゆかいな仲間達  
準優勝 ブルースカイ  
3位 Wht s up  
4位 Soul Power  
コーディネイト賞 浦添高校 審判のみなさん  
パフォーマンス賞 Wht s up応援団のみなさん

## 第1回各字対抗ゴルフ大会恩納区が優勝

平成11年からゴルフ競技は熊本国体で正式種目として採用されます。村体育協会(新門信雄会長)でも8月25日には非採点競技として各字対抗大会を行いました。

大会は14チーム、ゴルフ人が参加し日頃鍛えた技を競い合いました。結果は次のとおりです。

一般の部	一位	仲村 明 (喜瀬武原区)	70
	二位	津波古 武則 (太田区)	71
	三位	佐渡山 安男 (南恩納区)	71
シニアの部	一位	亀山 朝清 (安富祖区)	77
	二位	宜志富 紹永 (安富祖区)	80
	三位	新門 信雄 (山田区)	81
女子の部	一位	小林 友子 (前兼久区)	97
	二位	平安名 幸枝 (前兼久区)	101
	三位	饒 辺 子 (宇加地区)	110

団体の部 優勝 恩納区、準優勝 仲泊区、三位 太田区、四位 南恩納区、五位 名嘉真区、六位 安富祖区

※ 団体は上位八人の成績



▲団体の部 優勝の恩納区チーム



▲バレーボール男子 初優勝の前兼久区チーム

## 前兼久男子バレーボール初優勝 第23回各字対抗球技大会

第23回恩納村各字対抗球技大会(主催 村体育協会)が8月3日、村内各小中学校体育館で行われました。

結果は次のとおりです。

女子は恩納区が22連覇

○バレーボール

男子(優勝=前兼久区 2位=恩納区 3位=山田区) 女子(優勝=恩納区 2位=南恩納区 3位=前兼久区)

恩納区(女子)10年ぶり4度目の優勝

○バスケットボール

男子(優勝=仲泊区 2位=恩納区 3位=塩屋区) 女子(優勝=恩納区 2位=瀬良垣区 3位=仲泊区)

仲泊区10年連続優勝

○卓球

優勝=仲泊区  
2位=安富祖区  
3位=瀬良垣区



▲頼りになるジュニアリーダーのみなさん

## 自分たちの力で生きる



▲慣れぬ魚さばきに一苦勞



▲夕食のおかず確保にみんなも必死



▲朝早くからの火起こしもみんなで一緒

## 自然生活を体験

### 恩納村サバイバルキャンプ

第七回恩納村サバイバルキャンプ(主催 村教育委員会、村子ども会育成連絡協議会)が八月二十六日から二十九日の三泊四日の日程で南恩納沖ヨロ島で行われ、村内の小学五年生四十一人と中生ジュニアリーダー十人がサバイバルに挑戦しました。サバイバルキャンプは日頃の便利な生活から離れ、自分たちの力で生きる生活を学ぶためテント張り、飯ごう炊飯、漁協組合員と共同での追い込み漁、遠泳など自然生活を体験する場です。遠泳では泣き出す子も見られましたが、ほぼ全員が完泳しました。また、飯ごう炊飯は初体験の子がほとんどでしたがみんな協力して作った食事の味は格別だったようです。三日目の夜にはジュニアリーダーを中心にキャンプファイヤーを行い、各班毎に多彩な余興を披露しました。最終日には手作りイカダを製作、親元を離れたくましくなった子どもはヨロ島から南恩納漁港までの帰途を手作りイカダで渡りきりました。



▲最後の力を振り絞って「さあゴールが近いぞ」

# むらの話題

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。  
身近な話題や出来事、珍しい写真など、お気軽にお寄せください。  
966-8006 (内線200)

## ウミガメの卵ふ化

仲泊海岸で三十四余り

ウミガメ(アカウミガメ)の卵が八月八日から十一日にかけて仲泊海岸でふ化し赤ちゃんの旅立ちを多くの区民が見守りました。  
ウミガメの産卵が確認された(一カ所)のは六月で、区民は産卵場所が荒らされないように回りにロープを張り保護に努めました。  
ウミガメは満潮時の大潮にふ化する確率が高いといわれており、この日は数匹が砂の中から自力で生まれ出てきました。しかし、しばらく経っても後に続くウミガメがいないため県の職員らが掘り起こし救出する一幕もありました。県職員によると「今回は台風の影響で潮風を受けたためふ化する確率が低かった」と話していました。また、海岸近くに住む区民は「これからのこの海岸でウミガメが安心して産卵できるよう海浜を保つていければ」と自然環境の大切さを訴えていました。



▲ウミガメを手にする子どもたち (沖縄タイムス提供)

## 小さな力持ち再利用

万座ビーチが村漁協へタグ車三台贈る

万座ビーチホテルは9月10日、恩納村漁協へ漁船などの陸揚げに使用するタグ車3台を贈りました。  
同ホテルビーチ前広場で行われた贈呈式では、万座ビーチホテル山崎総支配人から村漁協当山政男参事にキーが手渡されました。山崎支配人は「このタグ車は羽田空港で航空貨物の輸送に使用されていた車輛です。再整備しペンキを塗り直してあ



▲山崎総支配人から当山政男参事にキーが手渡されました。

## 「オニヒトデ大発生」の予知と「サンゴ礁保全対策」と題して

本村海域のサンゴ礁は観光産業・漁業振興の面からも重要な資源であります。しかし、最近本村海域においてサンゴを食い荒らし死滅に追い込むオニヒトデが大量に発生しています。オニヒトデ駆除対策を目的とした「オニヒトデ大発生」の予知と「サンゴ礁保全対策」講演会(主催 恩納村漁協組合)が八月二十七日、村コミュニティセンターで東海大学海洋研究所西表分室の横地洋・助教授を講師に招き開催されました。会場は漁協関係者のほか、県や各市町村担当者、ダイビング関係者などが参加しました。  
講演で横地助教授は八重山の失敗例を挙げ「駆除開始時期



▲会場ではメモを取る姿も多く見られました。



▲大きな川での遊びに興じる子ども会のみなさん



▲「駆除は早い対応が必要」と講演者の横地助教授

## 徳島県日和佐町の子ども会と交流を深める

子ども会県外研修会

本村子ども会育成連絡協議会は姉妹町村である徳島県日和佐町の子ども会と交流を深めるため毎年相互の訪問を実施しています。今年で十四回目となる今年は八月二十五日から二十八日の三泊四日の日程で本村の子ども会小学五・六年生二十人、引率者三人が日和佐町を訪ねました。  
日和佐町では近藤町長をはじめとする町民の歓迎を受けました。歓迎式終了後子どもらは日和佐町内の見学へ出かけ、町内の明丸展望台や薬王寺、図書館などを見て回り多くのことを学びました。その後日和佐町子ども会と合流、西河内川で水泳など川遊びに興じました。その夜子どもらは民泊先の家庭で温かいもてなしを受け交流を深めました。



▲参加者全員で記念撮影

# こんにちは保健婦です

「元気生活」してますか？！  
10月は『体力づくり強化月間』です。

人生80年と言われるようになり、多くの人が長寿を全うできるようになりました。しかし、私たちがとりまく状況を見ると、運動不足による体力の低下や、不規則で偏った食習慣、肥満、ストレスなど健康を阻害する要因が大人だけでなく子供にも押し寄せています。

がんや心臓病、脳卒中など、これまで成人病と言われてきた病気は、日頃の誤った生活習慣の積み重ねによるものということから、『生活習慣病』と改められました。このような病気を招く要因を少なくし、健康を維持・増進するために「自分の健康は自分で守る」という自覚のもと、バランスのとれた栄養・十分な休養・適度な運動に加え、歯の健康、禁煙、節酒という正しい生活習慣を身につけましょう。

暑かった夏も過ぎ、朝夕過ごしやすくなるこの季節、体力づくりのために、自分の体力にあった、運動を始めるのにちょうどいい機会です。手軽にできる運動を生活の中に取り入れてみましょう。

最近、家事や仕事も機械化が進みなかなかエネルギーを消費しなくなりました。そこで、厚生省では、日常生活の中で、男子300キロカロリー、女子200キロカロリーを運動で消費し、健康を増進する事を勧めています。

## 約300キロカロリーの食品



- ご飯茶碗軽く2膳
- ショートケーキ
- ビール中ジョッキ2杯

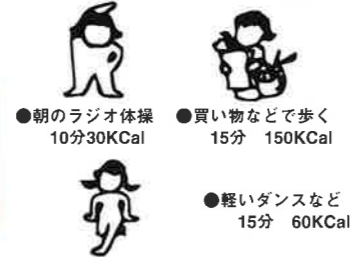
少なくとも  
3ヵ月続け  
ましょう

## 男 1日300KCal消費



- 朝のラジオ体操 10分 30KCal
- 勤め先などで階段昇降 20KCal
- 朝夕、通勤は急ぎ足 30分 150KCal
- 帰宅後の柔軟体操 15分 40KCal

## 女 1日200KCal消費



- 朝のラジオ体操 10分 30KCal
- 買い物などで歩く 15分 150KCal
- 軽いダンスなど 15分 60KCal

続けるポイント  
★1日のスケジュールに運動の時間をあらかじめ組んでおく  
★目標を立てる  
何キロやせる、1日何キロ歩くなど  
★運動日誌をつける  
★家族や友達など一緒に運動する仲間を  
★近くに運動する場所をさがす  
★エスカレーターは使わない。15分程度なら乗り物に乗らないなど約束事を決める  
★目標を達成したら、新しい服を買ったりして自分にご褒美を

# 無断転用防止で大切な農地を守ろう

## 対象農地は

地目が農地であれば、耕作がされていなくても農地性がある限り農地です。また、地目が農地でなくても肥培管理がされていれば、農地とみなされ、転用には許可が必要です。

## 採草放牧地の転用にも許可が必要です

採草放牧地を売買して転用する場合も許可が必要です（市街化区域内は届出）。しかし、採草放牧地の所有者、利用者が自ら転用する場合には許可はいりません。

## なぜ許可が必要か

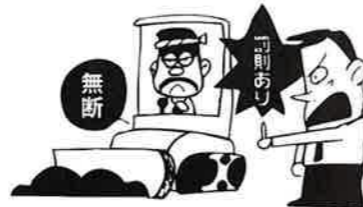
- 農地は食料・農業・農村にとってかけがえのない財産です。いったん宅地や道路などに転用すると、農地としての利用は不可能となります。
- 乱開発につながる無計画な転用や無断転用は、地域の農業・農地の大きな迷惑となります。

詳しくは  
村農業委員会に  
ご相談下さい  
TEL 966-8011  
(内線120)



## 無断転用には厳しい措置

無断転用者には、都道府県知事が工事等を中止させ、もとの農地に復元させることができます。これに従わない場合は、最高3年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられます。



# 村の日誌

8月3日(日)  
恩納村長杯ビーチバレー大会開催  
サンマリーナホテル  
恩納村体協球技大会 村内各体育館

8月6日(水)  
村内小学六年宿泊学習会 白雲荘

8月9日(土)  
沖縄県子ども会ジュニアリーダー研修会 村コミュニティセンター

8月12日(火)  
日本赤十字社特別社員表彰伝達式  
村長室

8月20日(木)  
第10回全国スポーツ・レクリエーション祭 恩納村実行委員会実施本部  
設置式 村コミュニティセンター

8月25日(月)  
第1回恩納村各字対抗ゴルフ大会  
大京カントリークラブ  
恩納村子ども会県外研修会(～28日)  
徳島県日和佐町

8月26日(火)  
恩納村サバイバルキャンプ(～29日)  
南恩納沖ヨー島

8月30日(土)  
恩納村青年エイサーまつり 村漁民  
広場

# 善意ありがとう

- ◎村社会福祉協議会へ  
山内輝信氏 仲泊五三三一万円
- ◎村奨学基金へ  
比嘉駕信氏 山田二五五  
トーチカ寄付金一〇万円

# 「第6回特別弔慰金」 戦没者の遺族の皆様へ

戦没者死亡時に三親等内であった遺族の方に  
対する第六回特別弔慰金(一年で四万円、十年で  
四十万円)の請求期限は平成十年三月三十一日ま  
です。これまでももっていた方で、まだ請求し  
ていない方や新規(平成七年三月三十一日以前に、  
公務扶助金、遺族年金等を受けていた人が亡くな  
った遺族関係者)の方は、手続きして下さい。  
※すでに手続きをなさった方は不要です。

「手続きを済ませられた方へ」

債券及び裁定通知書が遅れております。申し訳  
ございません。

厚生省より届きましたら役場より本人宛へ葉書に  
て通知致します。

# 日本赤十字社特別社員三社表彰

八月十二日、村内事業所の平成リポートエンター  
プライス、(株)ニチボク沖縄支店、沖縄コーポレーション  
が日本赤十字社特別社員として日本赤十字社沖縄県支  
部恩納区分長比嘉茂政村長より感謝状が伝達されまし  
た。  
比嘉茂政村長は「日頃から赤十字事業に暖かいご支  
援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。皆様から納  
めていただいた社費はこれからの活動に有効に役立  
ます」と述べていました。  
日本赤十字社は、毎年一定額以上の社費を納められ  
る社員で組織された特殊法人で人的活動を行って  
国際的な団体です。地震、水害などの自然災害時救援  
救護活動のほか、身近では血液事業などを展開し大  
きな役割を果たしています。



# 平成九年度 カナダ・アメリカ・サマースクールに参加して

安富組中三年 當山幸徳

言葉も生活も自然と大きく変わったアメリカで、いろんな事を経験し、学ぶべき事も沢山ありました。始めての外国という事もあって、当日の朝から緊張しきって、役場からバスで二時間、那覇港に着く、ぼくは少し不安がっていた。二十八日間の間に一緒に過ごす人達とうまくやっていかないと不安だったけど那覇空港で同じグループの人達と仲良くお別れした。飛行機で二時間、台北に着いた。台北の空港からホテルまでバスで移動、ホテルで六時間の休息。その間にぼくは係長に任命された。八時に空港へ向かい、十時ぐらいにはロサンゼルス行きの飛行機に乗った。ロサンゼルスからの景色は、縦横に道路がきれいに整備されて広々とした。ロサンゼルス空港はたくさん人があふれていた。その日は空港の近くのホテルで一泊し、翌日ワシントン州のシアトル空港まで飛行機で三時間、空港からバスで移動した。バスは移動はつらかったが窓から山や川、湖などがみられた。お昼ごろボーズマンのモンタナ州立大学に到着。すぐ大きな大学でびっくりした。大学の人はみんないい人だった。大学での十八日間は、毎日楽しかった。パーティーは雨で中止されたけれど、イエローストーンとかジョージア、川下り、お祭りもあった。公園でみんな遊んだのも楽しかった。コンサートでは素晴らしい演奏が聞けてとても感動した。  
英語のクラスは三つに分かれて、ぼくのクラスはMエドワードと言う、とてもやさしくおもしろい先生で、よく授業で大学内のお店に連れて行かれたり、恐竜の博物館にも連れて行かれた。一番思い出に残っているのはイエローストーンと川下りです。イエローストーンで泊まったのは本当に楽しかった。三人で一つの小屋に泊まるんだけど夜遅くまで一つの小屋に集まってずっとおしゃべりした。しかもその小屋のまわりには熊が出るって聞いているので、ぼくは少し怖かった。リスもたくさん小屋のまわりを走りまわっていて木の上をのんびり写真を撮っていました。ガイザールというめずらしいものも見れてよかった。バスの中で鹿やバブアアローが見れたし熊も遠くに見れた。だけど狼が見れなかったのは残念だった。川下りはポイントで時間あまり川上から川下へボートで下ることになった。みんなでオールで漕いで進んだのは楽しかった。ショッピングはよくジェイ、ダン、アンさんにモールやダウンタウンにつれていかせてもらって、たくさん買物ができました。あとお別れ会は学遊でもやりました。ぼくは、ダンさんのギターがすごく印象に残っています。今日この学遊でもお別れだし、バンクーバーに行く時のバスの中で、いくらでも寝る時間があるからとみんな寝ないで起きていて、バンクーバーに歌をみんなで歌った。迎えるバスが来てバスに乗って大学を出る時も大学の人が手をふって見送ってくれた。カナダのバンクーバーにはたくさん日本人がいて、日本語でしゃべりながら歩いてる人を見かけた。ぼくは、バンクーバーのロブソンストリートでグループの人と一緒にショッピングを楽しんだ。カナダドルはアメリカドルに対して百三十三ドルで安かったし、しかも日本内が使える所もあってアメリカよりも買物がずいぶんしやすかった。カナダで世界一の吊り橋を渡った後、何時間もバスに乗り、シアトル空港に着き、ロサンゼルス行きの飛行機に乗った。この前のロサンゼルスは昼間だったけど今回はきれいな夜景を見ることができた。そしてロサンゼルスから台北、台北から沖縄に四週周りに帰ってきました。サマースクールに参加して、自分にとってとてもいい経験になりました。将来この経験を役立てることができればいいなと思っています。



## 沖縄職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ沖縄) 平成10年度学生募集

1. 募集定員  
 機械システム系 (制御技術科) 30名 電気・電子システム系 (電子技術科) 30名  
 情報システム系 (情報処理科) 30名 居住システム科 (住居環境科) 30名  
 物流システム科 (物流情報科) 30名 合計 150名
2. 推薦入学試験  
 ① 募集定員 各系とも定員の50%程度  
 ② 受付期間 平成9年11月4日(火)～11月10日(月)  
 ③ 入学試験日 平成9年11月18日(火)  
 ④ 合格発表 平成9年11月28日(金)  
 ⑤ 手続き期間 平成9年12月2日(火)～12月8日(月)
3. 一般入学試験  
 ① 受付期間 平成10年1月9日(金)～1月22日(木)  
 ② 入学試験日 平成10年2月3日(火) 09:10～  
 ③ 合格発表 平成10年2月17日(火) 10:00～  
 ④ 手続き期間 平成10年3月2日(月)～3月11日(水)
4. 問い合わせ先  
 沖縄職業能力開発短期大学校 学務課  
 所在地 ☎904-21 沖縄市池原2994-2  
 ☎ 934-6282

## 恩納村庁舎設計競技 入選発表及び記念講演会

日時 平成9年10月26日(日)  
午後3時～午後4時

場所 村コミュニティセンター

講演者 石井和紘氏  
(株)石井和紘建築研究所代表

テーマ 「建築の地球学」

応募作品展示  
 期間 平成9年10月26日(日)～11月1日(土)

場所 村コミュニティセンター



## 陸上競技大会開催 第23回恩納村陸上競技大会 第19回恩納村中学陸上競技大会 村内のランナーが健脚を競う

日時 平成9年10月5日(日)

午前8時30分 開会式  
午前9時30分 競技開始

場所 恩納村立赤間運動場  
主催 恩納村体育協会



## テレビの映りでも困りでは 十月は「電波障害クリーン月間」です。

電波障害とは、建造物、電気雑音、送配電線、不法無線局などが原因となつて、テレビ・ラジオ放送の受信に障害を与えることを言います。電波障害については「沖縄電波障害防止協議会」及び「放送局」へご相談下さい。

沖縄電波障害防止協議会  
 住所：〒900-1977 那覇市東町二六二二九  
 沖縄郵政管理事務所電気通信管理課電波課内  
 電話：〇九八-八六五-二三〇七



行政相談委員 小山民子さん

○日時 平成9年10月17日(金)

○場所 恩納村コミュニティセンター

○相談員 村顧問弁護士・行政相談員・人権擁護員・心配ごと相談員・那覇地方務局沖縄支局職員・沖縄行政監察事務所職員

第13回 やんばるの産業まつり  
 北部地区の生産者の生産意欲の高揚と、同地区産品に対する



恩納村児童委員会 伊波 九六六-八五〇六

秋の行政相談週間  
 10月12日(日)～18日(土)

国の行政機関をはじめ、特殊法人(NTT、各種公庫、事業団など)、また、国から委任や補助を受けて行っている地方公共団体の業務について「取り扱いが納得できない」「こうしてほしい」といった苦情や要望があるときは、その解決や実現に努め、行政運営の改善に役立てる制度です。この制度を広く活用していただくため、春と秋に行政週間が設けられています。

十月十二日～十八日は「秋の行政週間」です。

相談は無料で、内容などの秘密は守られます。この機会を利用してお気軽にご相談ください。

問い合わせ先  
 ○沖縄行政監察事務所  
 住所 那覇市久米二丁目三十番一号  
 ☎ 八六七-一一〇〇

○恩納村配置行政相談委員  
 氏名 小山民子  
 住所 恩納村字瀬良垣一三五二番地の一

合同相談所開設いたしました。

恩納村では、次のとおり合同相談所を開設いたします。相談所では一般法律相談のほか、行政に対する意見や要望、また、最近特に問題化しているいじめなどの人権問題について相談を受けつけたいと思います。相談の内容は堅く守られますのでお気軽にご相談下さい。

する消費者意識の啓発を図り、同地区産業の振興を目的として開催されます。

○とき 平成9年10月17日(金) 十九日(日)

○ところ 名護市民会館(屋内・野外)

第9回恩納村童話・お話・意見発表大会開催  
 大会は童話・お話・意見発表を通して青少年の健全育成をはかることを目的として開催されます。

○主催 恩納村PTA連合会  
 ○日時 平成9年10月30日(木) 午後二時三〇分

○会場 童話(小学校低学年) 安富祖区公民館  
 お話(小学校高学年) 喜瀬武原小中学校体育館  
 ・意見発表(中学校) 山田小中学校体育館

○問い合わせ先 恩納村教員委員会 伊波 九六六-八五〇六

## 石川警察署からのお知らせ

(知的所有権侵害事犯(経済事犯)等取締り月間)  
 (平成9年九月一日～九月三十一日の間)

ニセブランド品は不正商品です  
 不正商品とは  
 ○有名ブランドの名前、マーク、デザイン等を盗用して、本物に似せて作られた商品のこと。「コピー」商品とも呼ばれています。こうした「不正商品」は、衣料品、スポーツ用品、時計、バッグといった商品に多く、これらの輸入、製造は法律違反として罰せられます。

○不正商品を「これはにせものだ」と断って売つても、法律違反であることには変わりありません。もし、あなたがにせブランド商品を買うと言うことは、犯罪者を助けたことになりません。

○海外有名ブランド品にせものが増えてきています。

○ニセブランド品は輸入禁制品です。

※これらの不正商品(経済事犯)にお困りで気づいた方は情報をお寄せ下さい。

沖縄県石川警察署生活安全課  
 ☎ 九六四-四一一〇

**無料** ●電話のご相談もお受けします  
 ☎098-868-8950 (直通)

相談日：月曜から金曜午前9時半から12時  
 午後1時～4時40分(祝祭日を除く)

●交通事故ご相談  
 ◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます  
 ◎弁護士相談日：毎月第3金曜午後1時～4時(予約制・相談無料)

●問い合わせ先  
 社団法人日本損害保険協会  
**沖縄自動車保険請求相談センター**  
 那覇市松山1-1-19 安田生命那覇ビル6階 自営会沖縄調査事務所(☎098-861-1137)内

●相談会場 沖縄自動車保険請求相談センター  
 (琉球放送斜向 安田生命那覇ビル6階)

